

Q

人はなぜ「神の似像」に創られた？

神さまはなぜ人を「神の似像」に創る必要があったのでしょうか。
(60代・女性)

Q+A

教会
質問箱

A

山元 眞

(行橋カトリック教会司祭)

愛には計算がありません。今でもそうだと思います。今でもそうです。神さまに必要なだったから人を創ったのではないでしょう。神さまの愛が……。

人が人を創らせたのです。

旧約聖書の創世記に天地創造の物語があります。第1章から第2章です。そこには二つの別の伝承を見ることが出来ます。地球の誕生は約四十億年前、人類の誕生は約600万年前とも700万年前ともいわれています。旧約聖書に残されている伝承はこの人類誕生の初めからずっと言い伝えられてきたとは考えられません。が、おそらく、人類が自分を意識し始めて以来、「人とは何者か」という疑問はずっとあったのではないかと思います。

「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された」(創世記1・27)

「主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」(同2・7)

愛である神は人を創らようになったのです。

質問は、郵便またはファクス(03・3260・6699)、Eメール(shimbunhenshubu@kirishin.com)で新聞編集部「教会質問箱」係までお寄せください。